

【 終わりに当たって 】

梅元 建治氏

木村 航氏

8つのテーブルで話し合い、いろいろなアイデアや知見が出てきましたが、感想としまして・・・。

《梅元 建治氏》

会員さんのモチベーションをどうやって維持させるか、内側に向けたメッセージも大事ですが、それと同時進行で、外側に向けてどう発信していき、その発信したものが内側にどう還元されるか、繋げて考える視点も大事だと思います。

それは会社でも組織でも団体でも同じで、発展を遂げていく視点だと思います。

丁度、津留館長が言われていた、デザインしてクラッシュアップしていくものが残っていく、ということではないでしょうか。

まさにイーテラスマーケットは東京からも、22万人が来るという事は、期待あつてこそだと思うので、最初は自分で決めていくことかも知れませんが、決めていく中にも、外側の人たちに、次の世代にどう繋げていくかだと思います。

私、羨ましいです。国民文化祭を機会に立ち上げた「とびうめの会」が、その後何回もこういう研修をやりながら、自分たちのスキルを上げ、今でも続けておられます。

次の世代をどうやって育てていくか、今日もそういう議論を聴きながら、そのまま長崎でもやって貰いたい話でした。

今九州のリーダーは福岡です。皆さんが、九州一円を勇気づけていく機会を作って頂ければ、私も大いに協力したいと思います。

皆さんの立ち位置は、それぞれの地域や館だけではなく周りも大いに期待し、次の世代も乗っかろうとしています。

《木村 航氏》

皆さんとの話し合いの中で「次なる一步」を探ることを進めてきました。

8つの言葉をここに掲げました。それを皆さんと共有していく中で、皆さんから発表して頂いた言葉並びにコメントを、ホワイトボードに掲げております。文化ボランティアフォーラム2015の成果とし、「次なる一步」を、今一度確認して頂きたいと思っています。